

(様式1)

平成25年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

104	提案機関名	神奈川県内水面養殖業者協議会		
<b>要望問題名</b> 人工産アユの品種改良				
<b>要望問題の内容</b> 【 背景、内容、対象地域及び規模(面積、数量等) 】  アユは本県の内水面漁業において、釣り対象及び養殖対象として最重要魚種となっています。現在内水面種苗生産施設で生産しているアユは、魚類防疫や種苗の安定的な供給の面で河川放流用種苗としてばかりでなく、アユ養殖業にとっても重要な役割を担っております。 しかし、人工産アユは海産種苗に比べ成熟の進行が早いため、活魚で出荷する場合に販売期間が限られています。現在の神奈川県産の人工産アユについて、成熟時期をはじめとする養殖用種苗としての性質を調べ、養殖にも適した種苗へ改良する研究を要望します。				
<b>解決希望年限</b>	1年以内	<input checked="" type="checkbox"/> 2～3年以内	4～5年以内	5～10年以内
<b>対応を希望する研究機関名</b>	農業技術センター	畜産技術センター	<input checked="" type="checkbox"/> 水産技術センター	自然環境保全センター
<b>備考</b>				

ここから下の欄は、回答者が記入してください。

<b>回答機関名</b>	水産技術センター	<b>担当部所</b>	内水面試験場				
<b>対応区分</b>	実施	<input checked="" type="checkbox"/> 実施中	継続検討	実施済	調査指導対応	現地対応	実施不可
<b>試験研究課題名</b> (、、の場合)アユ資源管理研究							
<b>対応の内容等</b> 昨年、内水面種苗生産施設において試験的に相模湾産由来のF9アユの生産を行ったところ、順調に生育していました。このアユは従来的人工産アユF35よりも成熟の進行が遅い傾向があります。本年からは相模湾産F10アユを主体とした受精卵の供給を行う予定です。 今後、新規の海産親魚の導入を行うとともに、これらのアユの飼育データを収集し、養殖用種苗としての性質を解明してまいります。							
<b>解決予定年限</b>	1年以内	<input checked="" type="checkbox"/> 2～3年以内	4～5年以内	5～10年以内			
<b>備考</b>							